

# ナウマンゾウのいろ博物館

野尻湖ナウマンゾウ博物館  
Nojiriko Naumann Elephant Museum

オオツノジカ

ナウマンゾウ

受付・ショップ

体験ミュージアム

カフェスペース



# 氷河時代の自然と人に想いをはせて…

野尻湖ナウマンゾウ博物館は、野尻湖で50年以上続けられている「野尻湖発掘」の成果を中心に、約9万年の昔から現在に至るまでの、野尻湖周辺の自然環境を研究・展示している博物館です。

発掘された化石をもとにした実物大のナウマンゾウとオオツノジカの復元像や、豊富に展示されている骨器や石器の資料、実際に化石にふれることができるコーナーや、石器作りなどの体験ができる学習会もあります。あなたもここに来て、野尻湖のまわりをゾウやシカが闊歩していた太古の世界に想いをはせてみませんか。

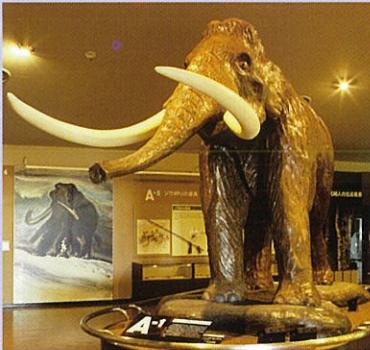


▲ミニ講座（石器作り）

## ナウマンゾウとオオツノジカ

ナウマンゾウは今からおよそ34万年まえから日本に生息していたゾウで、およそ3万年まえに衰滅してしまいました。野尻湖の4万年まえの地層から発掘されているナウマンゾウは、背までの高さが2.8mもあり、大きくまがった牙をもっていたことがわかっています。

ナウマンゾウ復元像▶  
実際に発掘された化石  
をもとに作られました。



▼オオツノジカ復元像



野尻湖からはオオツノジカの化石もいっしょに見つかっています。ナウマンゾウとオオツノジカは、日本の氷河時代を代表する動物化石です。



▲オオツノジカの下顎骨

## 野尻湖人を求めて

4万年前の地層から、骨でつくった道具（骨器）や石器が、ばらばらになつたナウマンゾウの骨の化石のすぐ近くから発見されました。ここには人類の生活のあとがあったのです。

◀さまざまな形の骨でつくった道具類

野尻湖は氷河時代の人びとの暮らしがわかる、日本でもっとも古い遺跡のひとつです。ナウマンゾウの狩りをしていた野尻湖人は、どのような生活をしていたのでしょうか。展示してある資料を見て、皆さんも一緒に考えてみてください。



▲骨製クリーヴァー（ナタ状骨器）  
が発掘されたときの様子  
(野尻湖発掘調査団提供)

## 本物の化石にさわってみよう

ナウマンゾウの歯はとても大きく、噛むところがすりへついて、特徴のある縞もあります。本物の化石がさわれるコーナーがありますので、よく見てさわってみましょう。



### ●入館料

区分		入館料
個人	一般	500円
	小学生・中学生	300円
団体(20人以上)	一般	450円
	高校生	350円
	小学生・中学生	260円

※一茶記念館・黒姫童話館と合わせて見学できる、お得な「3館・2館周遊キップ」もあります。

お問い合わせください。

※団体見学を希望される場合は事前に連絡をお願いいたします。

### ●開館期間

3月20日～11月30日  
(冬期も見学できます。事前に電話でご予約ください。)

### ●開館時間

午前9時～午後5時

### ●休館日

年末年始、月の末日(4・7・8月は無休)  
(ただし月の末日が土曜、日曜、祝日の場合は次の平日)

### ●交通アクセス

- しなの鉄道北しなの線黒姫駅よりタクシー約10分（初乗り料金の補助あり）
- 上信越自動車道「信濃町I.C.」より、国道18号を上越方面へ、「ナウマンゾウ発掘地」信号を右折し、次の交差点を右折。



ナウマンゾウの声  
電話でナウマンゾウの声が聞けます

026-258-2323



野尻湖ナウマンゾウ博物館  
Nojiriko Naumann Elephant Museum

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻287-5 TEL.026-258-2090 FAX.026-258-3551 E-mail nojiriko@avis.ne.jp  
<http://nojiriko-museum.com/>